

ヒトコブラクダの『ヒトミ』が 愛知県の岡崎市東公園動物園に移動します。

当園のヒトコブラクダ『ヒトミ』が岡崎市東公園動物園へ移動することになりましたのでお知らせします。

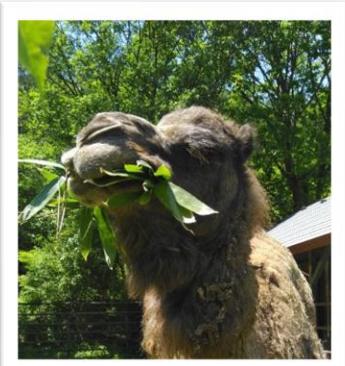
① 移動する個体

名前（性別）：ヒトミ（メス）

年齢：20歳 10か月

（2000年6月16日 愛媛県立とべ動物園生まれ）

※愛媛県立とべ動物園帰属個体



② 移動予定日

令和3年6月6日（日）

※6/6夕方に当園を出発、翌6/7岡崎市東公園動物園到着予定です。

③ 移動先

岡崎市東公園動物園

④ 経緯

平成19年3月に愛媛県立とべ動物園より来園し、今まで可愛がっていただきましたが、リニューアル後のコレクションプランに合わせてヒトコブラクダの飼育展示を終了することになりました。

この度、以前よりヒトコブラクダの飼育を検討していた岡崎市東公園動物園へ、令和3年6月に移動することになりました。

⑤ 当園での飼育状況

今回移動するヒトコブラクダ『ヒトミ』の搬出に伴い、当園での展示は終了となります。

⑥ 日本国内の飼育状況

令和3年3月31日現在、ヒトコブラクダは国内5施設で飼育されています（盛岡市動物公園を除く）。

⑦ 今後の予定

5月9日にヒトコブラクダ展示場前にて『ヒトミ』のお別れ会を実施します。

『参考』

ヒトコブラクダ

ウシ目（偶蹄目）ラクダ科 英名：One-humped Camel(Domestic)

学名：*Camelus dromedarius domestic*

体長：305 cm、体高：180～215 cm、体重：450～680 kg。性成熟はメスが3～4年、オスが5～6年とされ、寿命は40年程度です。

元々砂漠地帯に生息していたため、砂にめり込まないような平らな足や砂ぼこりを防ぐための太い眉毛や長いまつげ、自由に閉じる鼻の穴をもっています。主に草を食べて生活し、背中にコブが一つあり脂肪を蓄えています。

紀元前2500年以前に家畜化され、野生個体群は消滅していますが、オーストラリアには逃亡した家畜が野生化しています。